

## 第3学年2組 社会科学習指導案

あわら市芦原中学校

### 1 単元名 現代の民主政治と社会

#### 2 単元の目標

##### (1) 社会的事象への関心・意欲・態度

- ・国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。
- ・自分が民主政治にどのように関わっていけばよいかを意欲的に考えている。

##### (2) 社会的な思考・判断・表現

- ・政治に関する様々な事象や課題について、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察している。
- ・選挙や裁判、地方自治などに関する多様な活動を通して、多様な価値観を尊重しながら話し合いを行い、その過程や結果を適切に表現している。

##### (3) 資料活用の技能

- ・国や地方公共団体の政治に関する新聞記事や法令、判例などの資料を様々な方法で収集・選択し、政治や社会の現状や課題についての的確に読み取っている。
- ・新聞記事や統計資料などから現実の政治の動きを多面的・多角的に捉えている。

##### (4) 社会的事象についての知識・理解

- ・国や地方公共団体の政治の仕組みについて、主権者の立場から理解し、その知識を身につけている。
- ・国民の政治参加の重要性を理解している。

#### 3 単元について

本単元「現代の民主政治と社会」は、学習指導要領の内容(3)「私たちの政治」のイ「民主政治と政治参加」に該当する部分である。本単元では、新学習指導要領にある「我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚の育成」をねらいとしている。

民主政治の推進のためには、国民の積極的な政治参加が議会制民主主義を支えていくことと、マスメディアからの情報を適切に選択して読み取り、公正な世論を形成することが必要である。しかし、実際には政治に無関心で選挙に参加しない人も多く、特に若者の選挙の投票率の低下が大きな社会問題になっている。また、新聞やテレビなどのマスメディアの発信する情報を鵜呑みにするだけでは一面的な見方に陥りがちである。

そこで本単元では、主権者として政治に積極的に参加する意欲を育み、マスメディアの世論形成への影響力とメディアリテラシーの重要性を十分に理解して情報を批判的に読み取る力を身につけさせたい。

#### 4 生徒について

クラスの雰囲気は明るく、授業中の発言も多くみられる。

本単元では新聞を用いた学習を行うため、学習に先立ち、簡単なアンケートを行った。その結果は以下の通りである。

(1) あなたは普段、ニュースを見たり、新聞を読んだりしていますか。

A : ほぼ毎日している 3人      B : 時々している 7人  
C : あまりしていない 4人      D : ほとんどしていない 4人

(2) あなたが新聞を読むとき、どの記事を読みますか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

A : 一面 9人      B : 福井県内の記事 1人      C : 政治 3人  
D : 経済 1人      E : スポーツ 4人      F : 芸能 2人  
G : コラム・社説 2人      H : 一通りすべての記事に目を通す 2人  
I : 新聞を読まない 6人

(3) ここ数年であなたが最も気になったニュースは何ですか。

・北朝鮮問題	・桐生が福井で9秒台	・共謀罪
・オリンピック関連	・いたずら動画投稿	・太陽フレア
・トランプ大統領関連	・障害者殺人	・堀北真希引退
・佐々木希結婚	・英EU離脱	・政治家の不祥事

アンケートの結果、普段からニュースを見たり、新聞を読んでいる生徒はクラスの半数ほどで、新聞を読むときに一面を読んでいる生徒はちょうど半数であった。また、新聞を読む生徒でどの記事を読むか調べた結果、一面の記事を読む生徒が最も多く、その影響もあってか、ここ数年で気になったニュースには、新聞の一面を飾る政治的な記事が多く挙げられた。最も多く挙げられたのはアメリカ・北朝鮮との国際問題で、それに次ぐのが共謀罪のニュースであった。国際関係の記事だけでなく、国内の政治的話題にも関心をもっているようである。

## 5 指導について

ここ数年で気になったニュースを調べた結果、政治的な話題に関心のある生徒も多くいたので、政治的な話題を扱っている一面記事を用いて、なるべく多くの生徒の興味・関心を喚起できるように授業を構成したい。新聞を普段読まない生徒も何人かいるため、授業中の発言が多い生徒により積極的に発言を促し、新聞を読まない生徒や政治的な話題に関心の薄い生徒も授業に参加しやすい環境づくりを努めていきたい。

また、北朝鮮などの国外のニュースは知っているが、国内の政治的なニュースに関心をもっている生徒は多くない。そのため、本時で用いる新聞記事は国内の政治的なニュースを多く取り入れ、生徒が国内の問題にも関心をもてるようにしていきたい。

本単元では、NIEの授業を実践する。前時において、各新聞社の考えが良く表れている共謀罪に関する記事を用いて、新聞社ごとの新聞記事の書き方の違いに注目させる。そして、その学習を踏まえて、本時において、今秋に行われる衆議院議員選挙に関する記事を用い、記事の書き方の違いを読み取って各新聞社が選挙戦に向けてどのような意向で選挙報道を行っているのかを考察していく。また、

最近の時事的な話題を取り上げることで、現代社会の知識を得て、今後の国の政治の仕組みを学習することにつなげていきたい。

## 6 指導と評価の計画 (6時間配当 本時6/6時間)

時配	学習内容	評価規準				
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
1次	1	民主主義と政治		・民主主義の考え方が大切であることを、歴史的な経緯を踏まえて考え、適切に表現している。		・議会制民主主義において、多数決の原理と少数意見の尊重が重要であることを理解している。
2次	1	政治参加と選挙		・選挙に関する課題について、有権者や立候補者などの様々な視点から多面的・多角的に考察している。		・選挙の意義と、日本の選挙制度のあらましについて理解している。
3次	2	政党と政治	・現在の日本の政党政治の動向や課題について意欲的に調べ、関心を高めている。			・政党の役割について、具体的な事例に基づいて理解している。
4次	2/2 (本時)	マスメディアと世論		・新聞記事の構成や内容を比較し、気づいたことや考えたことを適切にまとめ、発表している。	・課題に沿って新聞記事を収集・選択し、その内容を的確に読み取っている。	

## 7 本時の目標

- ・新聞記事の内容を的確に読み取ることができる。
- ・新聞記事を書く際に、自分が書いた文章の表現を読む側がどのような受け取り方をするのかを考察することができる。

## 8 準備物

- ・ホワイトボード
- ・パソコン
- ・新聞

9 本時の展開

	学習内容	○学習活動	◇評価・支援
導入 5分	○前時の復習	○新聞社によって、同じ内容であっても記事の書き方が違うことを復習する。	・前時に取り扱った共謀罪に関する各新聞社の記事を用いて復習する。
展開 35分	○学習課題の提示		
	○記事の書き方の分別法の確認	○新聞記事の書き方を肯定型、中立型、否定型に分別することができることを学習する。	◇題材についてどのような表現で新聞記事が書かれているのか的確に読み取ることができる。(技能)
	○分別法に従って見出しを作成	○一人一人くじを引き肯定型、中立型、否定型のどの方法で見出しを書くか決定する。  ○くじで決定した方法で記事の見出しを作成する。	・くじを配布する。  ・机間巡視を行い、記事の内容があまり理解できない生徒を補助する。
	○初見の記事を分別	○他人が書いた新聞記事を肯定型、中立型、否定型に分別する。 ・黒板、ホワイトボードに新聞記事を貼って分別していく。	・作成した記事をいったん回収し、ランダムに再配布する。 ◇新聞記事の構成について考察し、適切にグループ分けの判断をしている。(思考・判断・表現) ・解説を所々に入れていく。
まとめ 10分	○授業の振り返り・まとめ	○新聞記事は記事の表現の仕方によって読み手が全く違う捉え方をするものだと理解する。	・新聞記事を鵜呑みにすることの危険さを太平洋戦争中の新聞記事を提示して説明する。

10 授業の観点

- ・新聞記事が学習課題の考察に役立てられていたか。
- ・生徒が学習を通してメディアリテラシーを身につけることができたか。

11 反省

12 ご高評